

6.6 同居羅敷  
三百名

六月七日  
四ツ山今工場（成工三〇〇名）同居羅敷修ル、  
高砂行方隊ハ龙ノ子行方趣焉畫ラ市セニ被布シ

奸商類事

考前東京十二大半由地主諸君日高達止ムラ修金不度井戸電ニ南洋テ  
鉄道第一二十里多々高達、米ニテ車輪等高達之半ノアリニシテ即  
前高砂行方隊修ノ非常工高砂ノミ引越入テ高達ノ貨物、此車輪  
給付トスノ所ハ今面ニシニモ今ハシテノ食人行軍サ人夫夫  
十人十人共其處に却角高砂也是日復經船上升ニテ半年ヲ提歩シ  
會長松原義、又之を不當の如ク者有ル、此其定不馬鹿也

其時河内色ヲ付ケテ吳ヒルトノ音ビテアリニシテナキ士官一高兄  
ト事當シテ六月一日ヲ待弟事致シタリ然ニ六月一日ノ事ニテナキ  
今士官ハ松達一向ノ事何事皆高一見ナシテ乃シカソ講義ナリテカソ  
力寧シ時君カシシト傳ウニ高内外昇治烈々全御テナク極ム一部  
ニ足ガマシシテナシタヒ昇治ハ松達人頭剣ニシテ見ヌハ一人一日ニ曾  
一見ナリ且ニ高一見ナシテノ天諾君曰「君何處」昇治ハ果シニ  
初意ノ解出生泥ハ坂口ニテナシカ否瓦現在松達ノ子房ナシ  
便銅ナリ今ナシ見移シタリ松達様ニシテナシ

金十四日一束（高砂物事）三月七日新三把六千束高達四束  
一束三十束高達（高砂八十五束高達）（丁目三三一束水道  
料一束三十束高達（高砂八十五束高達）二束水道高  
五十九三束被取費八十束電燈料三束酒三束新香料